

陳 情	受 理 番 号	95	受 理 年 月 日	令和4年11月28日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	貧困をなくすため月に1万円でも2万円でも支援してほしい陳情					

貧困をなくすため月に1万円でも2万円でも支援してほしい陳情

公務員だけがいい暮らしをしている、民間人はヒーヒー言っているとは週刊ポストが行っているだけでない。民間人のうち貧民はヒーヒー言っているどころか毎日泣いて嘆いて暮らしているが、公務員はそれがわからないおめでたい存在だと思うのは私だけであるまい。ゆりかごから墓場まで何の心配もない公務員は特権階級だ。貧困市民はというと毎日食べるものもない、毎月借金返済やサラ金の督促に追われ生きている心地もしない。内々尽くしの生活をしている。そんな貧困市民に毎月1万でも2万でも支援しないと大変な暴動が起き内乱がおきるのは明白だ。治安も悪くなる。せっかくこの世に生を受けたというのに、ずっと貧困の連鎖だ。悲しみを乗り越えられない。やけくそになって犯罪が起きている。窃盗などだ。ついでに、次のことを実行してほしい。

1 家族単位あるいは個人単位で生活にも食うのにも困っている市民を調べてほしい。年収が家族単位で200万から250万以下（これは市が決めたらい）を貧困市民と定義し、支援を市民みんなが知恵を出しお金をだし協力してするようにしてほしい。毎月5千円、1万円、1万5千円、2万円でもいい。助かる。貧困市民は。

2 財源は、コロナ給付金の10万円を年収300万以上の市民は寄付してほしい。元現公務員は年収の3割程度を寄付してほしい。富裕層、地主、経営者、資本家（株を売ったり買ったりしている市民）などはたくさん喜んで寄付してほしい。いやいやながらではなくあくまでも喜んで。